

履修方法

1. 大阪大学の教育課程の目的

今日の社会では、国際化、高度情報化、価値観の多様化が急速に進んでいます。大学に学ぶみなさんは、こうした社会の変化や技術の進歩に対して柔軟に対応する能力を身につけなければなりません。そのため大阪大学の教育目標は、「教養」「デザイン力」「国際性」をそなえた人材の養成です。この目標達成のための具体的なカリキュラムを教育課程といいます。

大阪大学の教育課程は、共通教育と専門教育に大きく分けられます。共通教育は、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を育むことを目的にしています。したがって、各学部が設定する4年間の一貫した教育の中で、共通教育と専門教育を相補う形でおこなうことが、大阪大学の教育課程の基本的な理念となっています。

2. 共通教育のカリキュラム

本学の授業科目は、次ページの別表に示す「教養教育系科目」「専門教育系科目」「国際性涵養教育系科目」の3つの柱からなります。

みなさんが2年次夏学期までに主に学修するのが、破線で囲まれた「全学共通教育科目」です。ここには、「教養教育系科目」「専門基礎教育科目」（「専門教育系科目」の一部をなす）「国際性涵養教育系科目」が含まれます。

教養教育系科目は、「学問への扉」「アドヴァンスト・セミナー」「基盤教養教育科目」「高度教養教育科目」「情報教育科目」「健康・スポーツ教育科目」から構成されています。

※注1 「アドヴァンスト・セミナー」も教養教育系科目であり、全学共通教育科目ですが、**保健学科の卒業要件単位には含まれません。**

※注2 「マルチリンガル教育科目」はマルチリンガル教育センターが主体で実施する語学の科目であり、1・2年次に配当される英語、第2外国語（仏、独、露、中）、グローバル理解の科目です。

高度国際性涵養教育科目として開講されるマルチリンガル教育科目は、ネイティブスピーカーによる「第2外国語上級」や「特別外国語演習」（第2外国語以外のアジア・アフリカ・中東・ヨーロッパ諸国の言語）の科目です。

